

一般財団法人 Ruby アソシエーション

協賛会員制度個人情報取扱規約

一般財団法人 Ruby アソシエーションは、協賛会員制度における個人情報の取扱について以下のとおり定めます。

第1条（個人情報の定義）

「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日、その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）、又は個人識別符号が含まれるものを指します。

第2条（個人情報の管理）

一般財団法人 Ruby アソシエーションは、保有する個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止のために、必要かつ適切な安全管理措置を講じるとともに、その改善に努めます。

第3条（個人情報の利用目的）

一般財団法人 Ruby アソシエーションは、以下の目的で個人情報を利用します。

1. 協賛金の請求など、協賛会員制度の運用に必要な手続きのため
2. 協賛会員からの問い合わせに対応するため
3. セミナーの開催など、一般財団法人 Ruby アソシエーションの活動に関する案内のメールを送付するため

第4条（個人情報の第三者提供）

一般財団法人 Ruby アソシエーションは、次の場合を除いて、あらかじめ本人の同意を得ることなく、第三者に個人データを提供することはありません。

1. 個人情報保護法以外の他の法令に基づき、個人データを第三者提供する場合
2. 人の生命、身体又は財産の保護のために個人データの第三者提供が必要がある場合であつて、本人の同意を得ることが困難であるとき。
3. 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であつて、本人の同意を得ることが困難であるとき。
4. 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であつて、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

第5条（個人情報の開示・訂正・利用停止）

一般財団法人 Ruby アソシエーションは、保有する個人情報について本人から開示請求があつた場合又は開示した個人情報に対して訂正若しくは利用停止の請求があり、当該請求に理由があると認められるときは、本人に関する個人情報を開示、訂正又は利用停止をします。